

# 技能奨励者表彰

技能奨励者表彰制度は、地域における技能向上及び技能尊重の気運を高め、技能者の社会的・経済的地位の向上と地域産業の発展に資することを目的としています。優れた技能を有する方に「久留米市技能功労士」「久留米市技能優秀士」「久留米市青年技能優秀士」の称号を贈るものです。

昭和55年からおこなわれ、これまでに功労士333名、優秀士266名、青年技能士52名の方が表彰されました。今回で27回目を迎え、技能功労士13名、技能優秀士5名、青年技能優秀士1名の計19名が表彰され、受賞者は延べ670名となっています。

## 技能功労士



左官職 49年  
安徳工業所

安徳 公男さん

(78歳/山川町)

古来工法漆喰壁の施工技術は、業界でも評価が高い。日本の伝統的な工法で、木舞壁（竹の骨組み）に荒土を塗り、漆喰を塗りつけるという古来工法を身につけている数少ない職人の一人である。造園も手がけ、石組みを利用した住宅外壁の施工にも定評がある。



## 技能功労士



造園工 33年  
有限会社 今村筑寿園  
今村 準寿さん  
(63歳/藤光町)

数多くのゴルフコースの植栽を手がけ、樹木を自然の景観にとけ込ませる「借景」という技術を駆使した造園技術で高い評価を得ている。近年、都市のヒートアイランド現象が問題になっているが、ビルの屋上緑化も先進的に取り組んだ技術者の一人である。屋上緑化は、施工当初だけでなく、根の成長による影響を考慮した施工技術が必要とされる。

「緑の市民会議」の緑化啓発や花いっぱい運動などにもボランティアとして積極的に参加。

## 技能功労士



建具職 57年  
稲益榮木工所

稲益 榮さん

(74歳/北野町)

木の材質を見極め、特徴を活かした建具類は、仕上がりの美しさに定評があり、その迅速性にあふれた仕事ぶりは、関係者からの評価も高い。幼稚園の建具類は、柔らかなデザインで、手を挟まないように、頭をぶつけても痛くないようにと、園児の安全性を考慮した様々な工夫を凝らしており、その丁寧な仕事ぶりから県外の保育園からの受注も多い。能舞台の建具など伝統的な建築物の建具も取り扱っている。